

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和6年5月14日(2024.5.14)

【公開番号】特開2023-156287(P2023-156287A)

【公開日】令和5年10月24日(2023.10.24)

【年通号数】公開公報(特許)2023-200

【出願番号】特願2023-114611(P2023-114611)

【国際特許分類】

C 0 8 L 1 0 1 / 0 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

G 0 2 B 5 / 3 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

G 0 2 F 1 / 1 3 3 7 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 0 8 K 5 / 0 9 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 0 8 K 5 / 3 4 9 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

10

【 F I 】

C 0 8 L 1 0 1 / 0 2

G 0 2 B 5 / 3 0

G 0 2 F 1 / 1 3 3 7 5 2 0

C 0 8 K 5 / 0 9

C 0 8 K 5 / 3 4 9 2

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年5月2日(2024.5.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

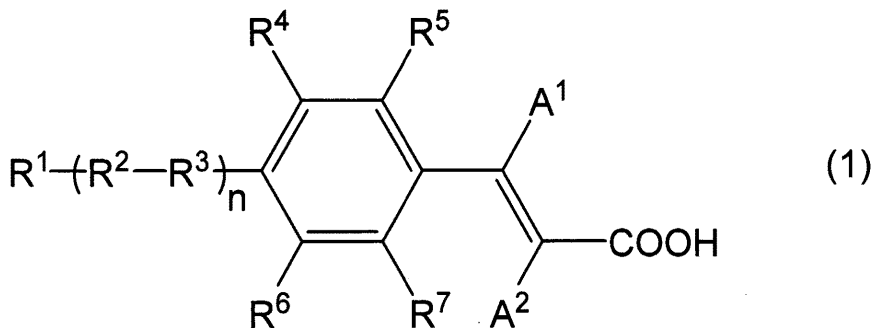
【特許請求の範囲】

【請求項1】

30

(A)成分である、下記式(1)で表される桂皮酸誘導体、

【化1】



40

(式(1)中、A<sup>1</sup>とA<sup>2</sup>はそれぞれ独立に、水素原子またはメチル基を表し、R<sup>1</sup>は水素原子、ハロゲン原子、C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルキル、C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>ハロアルキル、C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルコキシ、C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>ハロアルコキシ、C<sub>3</sub>~C<sub>8</sub>シクロアルキル、C<sub>3</sub>~C<sub>8</sub>ハロシクロアルキル、C<sub>2</sub>~C<sub>6</sub>アルケニル、C<sub>2</sub>~C<sub>6</sub>ハロアルケニル、C<sub>3</sub>~C<sub>8</sub>シクロアルケニル、C<sub>3</sub>~C<sub>8</sub>ハロシクロアルケニル、C<sub>2</sub>~C<sub>6</sub>アルキニル、C<sub>2</sub>~C<sub>6</sub>ハロアルキニル、(C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルキル)カルボニル、(C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>ハロアルキル)カルボニル、(C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルコキシ)カルボニル、(C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>ハロアルコキシ)カルボニル、(C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>アルキルアミノ)カルボニル、(C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>ハロアルキル)アミノカルボニル、ジ

50

(C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルキル)アミノカルボニル、シアノ及びニトロから選ばれる置換基を表し、R<sup>2</sup>は2価の芳香族基、2価の脂環族基、2価の複素環式基または2価の縮合環式基であり、R<sup>3</sup>は単結合、酸素原子、-COO-または-OCO-であり、R<sup>4</sup> ~ R<sup>7</sup>はそれぞれ独立に水素原子、ハロゲン原子、C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルキル基、C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>ハロアルキル基、C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>アルコキシ基、C<sub>1</sub> ~ C<sub>6</sub>ハロアルコキシ基、シアノ基、及びニトロ基から選ばれる置換基であり、nは0 ~ 3の整数である。)、

(B)成分である、セルロースまたはその誘導体、並びに

(C)成分であるN-ヒドロキシメチル化合物またはN-アルコキシメチル(メタ)アクリルアミド化合物を含むモノマーを重合したポリマー架橋剤を含有する硬化膜形成組成物から形成された配向材上に、重合性液晶溶液からなる位相差材料を塗布した後、液晶の相転移温度まで加熱することで位相差材料を液晶状態とし、配向材上で配向させ、配向状態となった位相差材料をそのまま硬化させて、積層体を形成した後、被転写体上に粘着層または接着層を介して積層体の位相差材料由来の面を貼り付けた後、位相差材料由来の硬化膜から配向材を剥離して除くことにより、光学異方性を有する層として位相差材を転写することを特徴とする、位相差材の製造方法。ただし、(A)成分と(B)成分の配合比は、質量比で5 : 95乃至60 : 40であり、(C)成分の架橋剤の含有量は、(A)成分の低分子配向成分と(B)成分のポリマーとの合計量の100質量部に基いて10質量部乃至500質量部である。

10

【請求項2】

(D)成分として架橋触媒をさらに含有することを特徴とする請求項1の製造方法。ただし、(D)成分の含有量は、(A)成分の化合物と(B)成分のポリマーとの合計量の100質量部に対して、0.01質量部乃至10質量部である。

20

30

40

50